

支えるヒト

観光まちづくり推進会議は、地域内外の住民や観光関係団体、市議会議員、商工会議所、専門家ら 36 人で構成され、計画を作りました。



小浜地区まちづくり協議会
代表 榊郷三好さん(66歳・竜田)

住民主体のまちづくりを

観光のまちづくりとは、住民主体のまちづくりだと思っています。「歴史文化のまち小浜」をさらに磨くためにも地元住民がその良さをもっとわかることが大事です。

行政と民間が連携して、観光拠点となる「まちの駅」を歴史文化が香る場所として整備し、居心地のよい空間を作れば、快適さが人を呼び、会話が始まり、にぎわいが生まれると思います。



若狭おばま観光協会
副会長 時岡節夫さん(64歳・高浜町)

観光客への「おもてなし」を充実

観光の側面からすれば、今回の計画で小浜の売りがひとつできるのはいいことだと思っています。

ただ、ハード整備をいくらしても、作って終わりになりがちです。行政がハードを整備するのと同時に、そこに住む住民の皆さんが「おもてなし」の気持ちでソフト面を充実させるなど、市内でも見本となる地域となってほしいです。



小浜市連合婦人会
理事 工藤ふさ子さん(54歳・福谷)

小浜には誇れるものがある

わたしは、大阪出身なのですが、都会でも小浜のように資源が豊かなところはなかなかありません。ただ、地元で育った人にはそれが普通に感じるのか、お店も住民もアピールが足りないと思うことがあります。行政の動きを待つのではなく、市民一人一人が、たくさんある誇れるものに自信を持って、おもてなしに取り組むことが大事です。

未来への懸け橋 観光まちづくり計画

■問い合わせ 商工観光課 ☎内線 266



小浜の地域力を最大限に生かした協働による観光まちづくりへの取り組みが進んでいます。
高速の全線開通
平成26年度に予定されている舞鶴若狭自動車道の全線開通により、本市と中京圏・北陸圏などのアクセスが飛躍的に高まります。
周辺都市からの来訪者の増加

が期待される反面、本市からの流出や通過型の観光地になることが危惧されています。
本市にとっても大きな転換期であることから、スピード感のある観光基盤の整備が求められていました。
観光まちづくり計画の提出
市では、整備を進めるために、市民を中心とした観光まち

づくり会議を今年2月に立ち上げ、9回にわたって協議を重ねてきました。8月6日には、「まちの駅整備」と「小浜地区中・西部地域のまち歩き環境整備」を主な取り組みとした観光まちづくり計画案が会議の委員から市長に提出されました。
感動おばまの創造
小浜地区中部地域は近年までまちの商業の中心地として大きな役割を担い、同地区西部地域は現在においても観光基盤として重要な役割を果たしています。
計画では、両地域が有する、伝統的な町並みや多くの文化財を活用し、住んでいる人がいきいきと暮らし、訪れた人が何度も訪れたいと思える「感動おばま」の創造を目指しています。
市では、住民が主体となった小浜ならではの観光まちづくり活動への支援を進め、まちの駅やまち歩き環境の整備を起爆剤として、市全体の活性化を図っていきます。

づくり会議を今年2月に立ち上げ、9回にわたって協議を重ねてきました。8月6日には、「まちの駅整備」と「小浜地区中・西部地域のまち歩き環境整備」を主な取り組みとした観光まちづくり計画案が会議の委員から市長に提出されました。

policy

6つの基本方針

計画のテーマ

歴史と伝統が織りなす「まちなか回遊」感動おばまの創造

計画のテーマを推進する中で、小浜地区中・西部地域の抱える課題を解決する方向性として、次の6つの基本方針に基づいた総合的な視点で、観光まちづくりを進めていきます。



歴史・伝統など地域の魅力を高め、次代へ継承する

歴史・伝統・文化・自然を学び・体験できる機会を拡大する

心豊かで快適な生活環境を創出する

楽しみながら歩ける環境を創出する

地域ぐるみ・住民主体によるおもてなし活動を推進する

地域の魅力を内外にアピールする

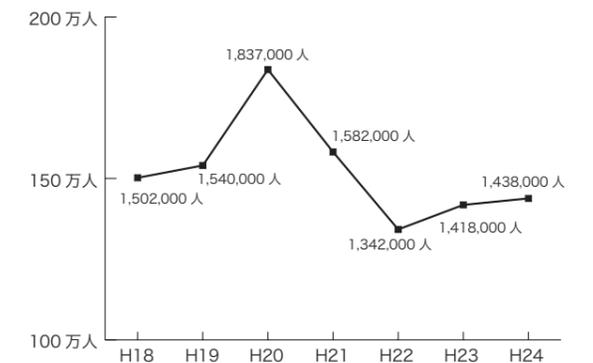
needs

観光形態の変化

市の観光客数は、平成20年度において、ドラマ「ちりとてちん」や「OBAMAフィーバー」効果などにより、過去最高の183万人を記録しました。しかし、その後は減少傾向で、昨年度の観光客数は143万人でした。

近年は観光の形態も、団体旅行から、家族や友人らとの個人旅行へと移行。旅行者が自分の足でまわるまち歩きにも注目が集まっています。それにともない、各観光地には、独自の魅力や個人ニーズにあった豊富な観光メニューを、地域が自ら掘り起こし、作り上げ、発信する「着地型観光」への取り組みが求められるようになっていきます。

市の観光客数 推移 (平成18年～24年)



「福井県観光客入込数 (推計)」より



歴史的景観の形成（三丁町）

三丁町の歴史を生かした街路景観整備を行う。

- ・街路整備（舗装・側溝）
- ・電線地中化
- ・街灯設置

冬場の歩行環境の改善（三丁町）

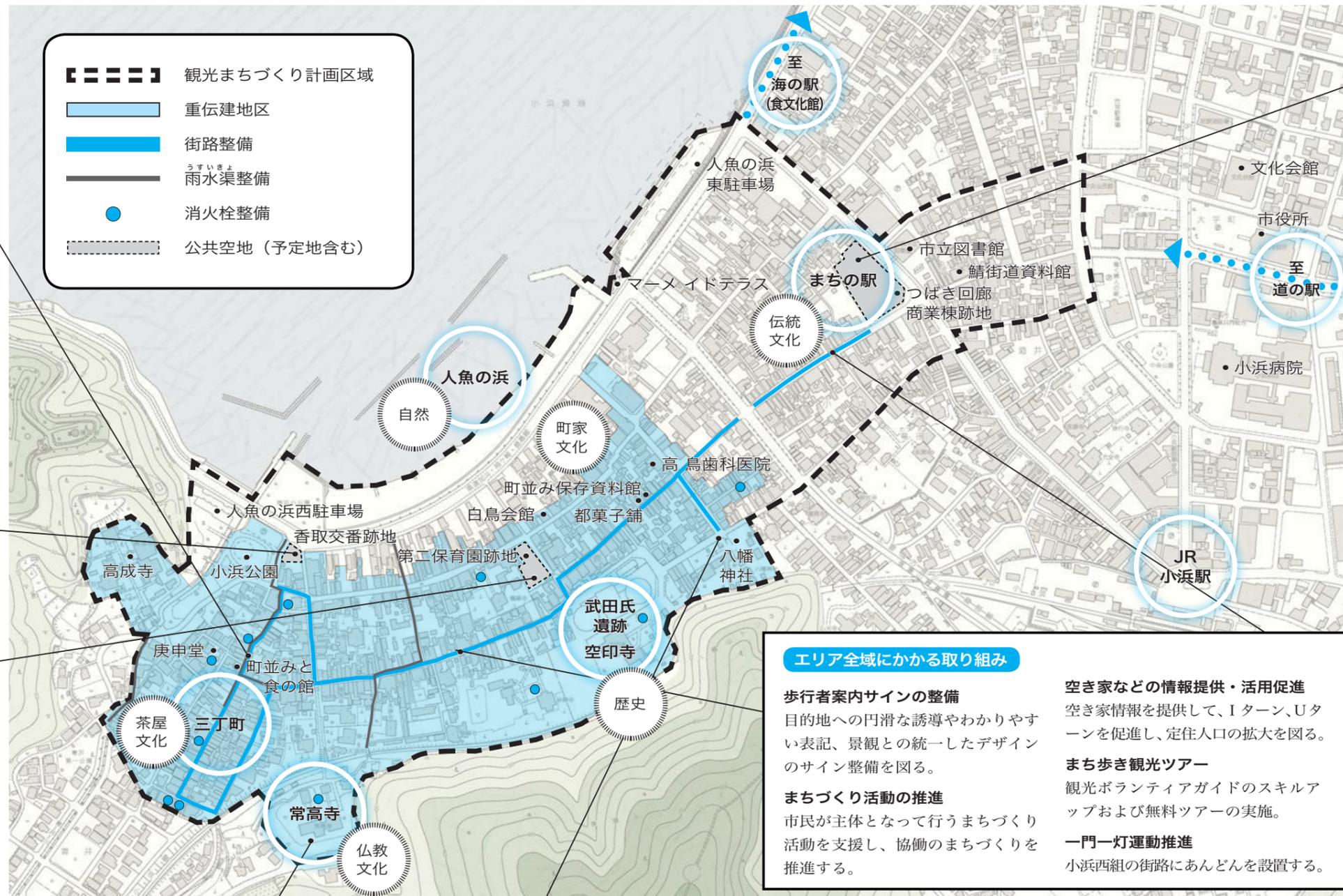
降雪期においても市民や観光客の歩行環境を確保する。



まち歩き休憩所の設置

楽しみながらまち歩きができる環境づくりの一端として主要な動線の結節点などに休憩所やトイレ機能の整備を検討する。

- ・ガイダンス施設整備
- ・休憩所整備
- ・トイレ整備



まちの駅の整備

小浜の顔となり、感動を生み出す拠点「まちの駅」として、心地よい居場所となり、まちなかのハブステーション、小浜の文化の象徴・発信する場の形成を図る。

- ・旧旭座の移築復元・文化財指定
- ・まちなか観光案内
- ・3 駅連携構想



歴史的景観の形成（濱参道）

濱参道（白鬚～住吉）の歴史を生かした町並みを形成するため、建築物などの外観修景を促進する。

- ・修景補助
- 歴史的景観の形成（旧丹後街道）**
- ・街路整備（舗装・側溝）
- ・電線美化化

エリア全域にかかる取り組み

歩行者案内サインの整備

目的地への円滑な誘導やわかりやすい表記、景観との統一したデザインのサイン整備を図る。

まちづくり活動の推進

市民が主体となって行うまちづくり活動を支援し、協働のまちづくりを推進する。

空き家などの情報提供・活用促進
空き家情報を提供して、Iターン、Uターンを促進し、定住人口の拡大を図る。

まち歩き観光ツアー

観光ボランティアガイドのスキルアップおよび無料ツアーの実施。

一門一灯運動推進

小浜西組の街路にあんどんを設置する。

防火施設の充実

火災による被害を最小限にとどめ、美しい景観を守るために、消火活動に必要な水利施設（消火栓、防火水槽など）を整備する。

- ・防火施設整備

浸水対策

浸水区域の早期解消を目指して、雨水渠の整備を推進する。

- ・青井、香取、浅間雨水渠改修など

常高寺山門や石段から見る美しい町並み



街路整備（舗装・側溝）
電線美化化

門前界隈にふさわしいにぎわい空間



街路整備（舗装・側溝）
電線美化化

三丁町の茶屋文化



茶屋町の伝統・技術継承支援
茶屋文化体験、外国人着付け体験

伝統行事の継承と活性化



放生祭、地藏盆など祭礼用具の修理・公開

市民が行う地域活性化イベント



町家 de フェスタ、若狭マリニピア、OBAMA 食のまつりなど